

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

事業所名：七松

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員の枠内では十分に確保されている。	スペースは確保されているとの問いに、全員「はい」の回答。施設見学の際や利用日の写真を通してスペースを確認頂いている。	保護者からはスペースについての改善点の指摘等は無い。引き続き環境を整備しながらスペースに余裕のある空間作りを行っていく。
	2 職員の適切な配置	1日に児童発達管理責任者1名 看護師1名 児童指導員1名 他それに加えての人員を利用児童数に合わせて配置している。	職員の配置数や専門性は適切であるかの問いに 対して3名が「わからない」、その他「はい」と回答。	継続して人員配置を満たせる様に努める。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設内における段差は皆無でバリアフリー化できている。	適切にされているかの問いに対して全員が「はい」と回答	継続して環境の整備強化に努める。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	閉所後や施設内・送迎車内の定期清掃を行い、清潔に留意している。活動スペースの他、臥床スペースも設けている。	子供たちの活動に合わせた空間となっているかの問いに対して全員が「はい」と回答。	引き続き児童にとって過ごしやすい環境の維持・向上を図る。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月数回の会議にて情報の振り返りを行い、日々の相談・検討を踏まえて業務改善を行っている。		継続して業務改善に役立てる。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	設備の必要物品の購入や環境の改善を、第三者と相談しながら適時行っている。		継続して業務内容の向上を図る。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	1か月に1回の社内研修に参加		継続して研修参加の機会を確保し、スキルアップに努める。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	日頃、必要に応じて情報交換や援助の改善を行い、誕生日月とその半年にの年二回の面談・計画の見直しを行っている。		継続してより適切な支援計画の作成に努める。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	日々の個別・集団活動や将来的な到達目標を踏まえて、計画作成を行っている。	出来ているかの問いに対して全員「はい」と回答	継続して適切な計画の作成に努める。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個々の児童の情報や日々の観察を通して、具体的かつ必要と考えられる内容を記載している。		継続してよりよい支援を目指し、適切な計画の努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供 （続き）	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画の内容に基づいた支援を実施。	全員「はい」と回答	継続して計画に基づいた適切な支援の実施に努める。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	季節ごとの行事や余暇活動などを職員内で立案し、実行している。	全員「はい」と回答	継続して児童が楽しめるよりよい活動プログラムの立案・実行に努める。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	登校日以外の日では時間を使っておでかけするなど、日中の活動時間に合わせたプログラムを設定し、児童の体調に留意しながら実施している。		継続して児童の様子に配慮しながら、細部の支援の向上に努める。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節ごとの行事や個別活動を実施し、毎日行う一つのプログラムの中でも毎日同様のものにならないように行っている。		継続して児童が飽きず、楽しめるようなプログラムを日々立案し、実行していく。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	紙面や共有の掲示板、または口頭にて当日の支援についての確認・指示をしている。		継続して情報の共有や確認の徹底に努める。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	口頭や申し送りの紙面にて情報を共有化している。	継続して情報の共有化に努める。	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	支援内容を連絡帳に記載し、保存して記録としている。月に数回の会議にて注意・改善点を検討している。	継続して記録の徹底を図り、注意・改善点を導き出し、よりよい支援につなげていくように努める。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	支援状況の評価、デイサービス計画の見直しを保護者との面談の上定期的に行っている。	継続して行き、より良い支援に役立てられるよう努める。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議へり参画	参加出来ている。		継続参加に努める。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	地域の嘱託医と連携し、定期的に様子見を依頼している。		引き続き各機関との連携強化に努める。
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	各家庭の緊急時連絡先や主治医の連絡先リストを常備し、緊急時に備えている。		継続して連絡体制の維持・強化に努める。
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	学校迎えの際に情報の確認・相談の時間を設けることで、学校の教員との情報共有を図っている。		引き続き連携を密にして、情報共有の強化を図る。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	過去に提供の機会なし。活動記録や保護者からの情報などをまとめて、引継ぎ機関への情報提供とする。		今後機会があれば、記録や情報をまとめて引継ぎ機関への情報提供を行う。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	研修は実施出来ていない。		必要に応じて研修の受講を検討する。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	実施できていない。	「わからない」または「いいえ」と回答	地域のイベントなどを通して機会の設定・実施を検討する。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	運営は出来ていないが市内での福祉イベント参加歴あり。	地域イベントの参加に積極的な保護者が多い。	今後可能な範囲で行事や事業に携われるようにする。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に個々に合わせた説明を行っている。	説明ができていないか問いに対して全員「はい」と回答	引き続き簡潔で丁寧な分かりやすい説明を心がける。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	理解しやすい言葉を心がけて説明を行っている。	出来ているか問いに対して全員「はい」と回答	引き続き分かり易く丁寧な説明を心がける。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	実施していない	「はい」「どちらともいえない」「わからない」と回答。「わからない」が7割	必要に応じて支援を実施する。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	身体面、心情面など解決すべき課題について情報を共有し、共通理解を深めている。	徹底できているか問いに対して全員「はい」と回答	引き続き保護者との共通理解の強化を図る。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	精神面に配慮した声掛けや対応及び、必要に応じて助言を行っている。	出来ているか問いに対して「はい」と回答	引き続き必要に応じて的確で保護者に寄り添った助言を心がける。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	特に実施していない	「はい」が1名 それ以外は「どちらともいえない」「いいえ」「わからない」と回答	今後必要に応じて開催する。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情申し立て先を設定し、契約の際にその機関について説明している。個々の苦情に対して経緯の説明・謝罪をしている。	「はい」「どちらともいえない」「わからない」と回答。	継続して個々の苦情に誠心誠意対応していく。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	個々の障害に配慮して意思の疎通を図っている。	全員「はい」と回答	引き続き障害に配慮した情報伝達を心がける。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1度の広報誌や行事カレンダーを保護者宛に配布し、情報を発信・提供している。	全員「はい」と回答	引き続き施設での実施内容が分かり易い情報の発信を図る。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	当施設で知り得た情報を外部でむやみに話さないことなどを徹底し、取り扱いに配慮している。	全員「はい」と回答	引き続き個人情報の取り扱いに配慮し徹底する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	感染マニュアルは配布済み。緊急時・防犯マニュアルは配布できておらず。	「はい」「どちらともいえない」「わからない」と回答	資料が整い次第、マニュアルを配布予定
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	過去、訓練は実施できておらず。	「はい」「わからない」と回答	災害時におけるマニュアルを作成し、定期的に訓練を実施。
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	同系列施設内での委員会にて虐待防止について取り組み、改善を図っている。		引き続き委員会や情報交換を通して施設内での虐待防止に取り組む。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	保護者の要望により車椅子からの滑落防止のためのベルトを着けている。臥床時間を設けたり、可能な児童は床で過ごしたりと、ベルト使用の時間帯を減らし、なるべく安楽で自由な過ごし方が出来る様に取り組んでいる。		引き続き可能な範囲で自由の利く時間を確保できるようにしていく。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	表に基づいてアレルギーのある児童に対して食事や環境面で配慮を加えている。		引き続き表に従ってアレルギー対応に対応していく。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	何か出来事があった際は報告書を作成し、原因や対応策を話し合い、チーム内で共有化している。		引き続き出来事が起こった際に対応策を出し、再発防止に努める。